

ウダヤナ大学への協定留学 月例報告書（2022 年 10 月分）

留学先大学：ウダヤナ大学人文学部日本文学学科

氏名：森下千裕

気候について

10 月に入り、一気に雨が増えました。雨が増えるこの時期になると、蚊や蟻が増えたり、日没後に大量の羽蟻が灯りを求めて飛び回ったり、対策に気を遣うことが増えます。また洗濯物もすべて手洗いのため、洗濯機を使ったような完全な脱水ができず、なかなか乾きません。その他にも、バイクでの移動に困ったり、暗い天候によって落ち込みやすくなってしまったりと、厳しい季節となってきました。しかし雨季は私の好きな果物の時期でもあり、特に好きなドラゴンフルーツは今後価格が下がり始めます。こうした季節の楽しみを味わいながら無理なく過ごしていきたいです。

大学での活動

少しずつ大学の授業形態に慣れ始めました。今月は特にオンライン授業が中心で、先生や友人たちと顔を合わせる機会が少なかったにもかかわらず、どの授業もグループワークの課題が多いことには戸惑いました。チャットを通じて、なんとかグループの仲間と課題を完成させました。

課外活動

今月はバリの祭日や吉日が多く、それに関連した行事に参加してまわりました。祭日や祭日付近にはバリ・ヒンドゥー教の寺院で祭礼が行われます。私も踊りの先生と一緒に供物を持ってお祈りに行き、奉納舞踊を踊りました。この奉納舞踊は、人々に見せるものではなく、神々に対して踊るものであるため、決まった振り付けや事前練習はありません。大切なことは踊りの技術ではなく、踊ることを通じて祈ることとされています。私は、決められた振り付けがなく自由に踊ることにまだ戸惑ってしまうことがあります。こうした機会に参加できることをありがたく思います。

また吉日には結婚式が行われることが多く、今回も数人の知人の結婚式に参加しました。いずれもバリ・ヒンドゥー教徒の知人でしたが、指輪交換の儀式から生まれ育った家の寺院でのお別れの儀礼、そして嫁ぎ先の家の寺院に入る儀礼など、バリ・ヒンドゥー教における結婚式のプロセスをすべて間近で見たのは初めてでした。



↑⇐ 踊りの先生の実家の家族寺院にて、定期的に行われる祭礼がありました。



⇐踊り関係の友人の結婚式に参列しました。